

講義名	空間市場分析特論			
科目区分	特論科目			
担当教員	森津 秀夫／酒井 彰／三谷 哲雄			
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1時限			
	2018年度 大学院（修士課程）修士課程（修士論文作成コース）／2017年度 大学院（修士課程）修士課程（修士論文作成コース）／2016年度 大学院（修士課程）修士課程（修士論文作成コース）／2015年度 大学院（修士課程）修士課程（修士論文作成コース）			
履修開始年次	1 年生	単位数	2	講義コード 31501

主題と概要
本科目は、3つのパートで構成する。 (1) パート1（酒井）「都市水循環」 都市におけるさまざまな空間市場にかかわる課題の中から、都市におけるひとつの基盤である都市水循環・水環境をとりあげる。講義では、われわれと水とのかかわりをベースに現状の問題点を明らかにし、持続可能な水循環を構成していくための関係主体の役割について議論を深める。 (2) パート2（森津）「交通計画」 あらゆる人間活動に欠かせない重要な役割を果たしている交通をテーマとして取り上げる。最初に交通に関する基礎的な知識を得た上で交通需要の分析手法を概観する。次に現在においては無視できない交通に関わる環境問題、流通に関する問題である大規模小売店舗と交通について論じる。 (3) パート3（三谷）「地域情報解析」 様々な社会、経済活動の営まれている空間を形成している地域の評価のために、地域情報解析手法について概観するとともに、実際の地域データを用いた簡単な地域分析演習を通して地域解析能力を養う。

到達目標
受講生は、本科目で紹介されたテーマに関して理解を深め、空間市場に対する自らの意見を提案できる力を身につけることが目標となる。

提出課題
(1) パート1（酒井） 講義中に取り上げたテーマのなかから最も関心の深いものを選び、各自の考えをまとめたレポートを提出し、発表する。 (2) パート2（森津） 道路交通に関するデータを分析し、その特徴を考察する課題をレポートとして課す。 (3) パート3（三谷） 講義中に利用した地域データに基づき、地域の課題やその解決方策に関するレポートを提出。

評価の基準
各教員ごとに33.3(100/3)満点で評価し、それらの合計点数が評価点となる。各パートでは、授業参加度と課題レポート評価の合計で採点される。各教員とも、成績は、授業参加度に30%、課題レポートに70%の配分となる。それぞれの課題レポートにより達成度を評価する。

履修にあたっての注意・助言他
特になし。

教科書
.各教員から適宜、指示がある．．

プリント資料及び参考文献
各教員から適宜、指示がある．

授業計画
01-05 〔酒井〕 1) 都市化と水環境問題・都市型水害 2) 都市化と水環境問題・水質汚染 3) ヒートアイランドと保水型都市の形成 4) 都市環境と防災 5) レポート提出・ディスカッション 06-10 〔森津〕 1) 交通とその特性 2) 交通需要の分析 3) 交通と環境問題 4) 大規模小売店舗と交通 5) レポート提出・ディスカッション 11-15 〔三谷〕 1) 地域情報のデータ分析法 2) 日本の人口実態 3) 交通事故と地域特性 4) 買い物行動と地域特性 5) レポート提出・ディスカッション

予習・復習
予習及び復習の時間は、それぞれの担当教員ごとに、1)～4)の講義内容に関する事前確認や下調べ、講義資料の事後確認に毎回4時間程度、最終回のレポート作成に4時間程度を目安とする。

備考
特になし。